

2024 年 6 月 27 日 一部改正  
2024 年 1 月 30 日 技術委員会 審議  
2024 年 5 月 31 日 国土交通大臣 認可

## コンテナ運搬船の小倉口

### 改正対象

鋼船規則 C 編  
鋼船規則検査要領 CS 編

### 改正理由

IACS 統一解釈 (UI) LL64 には、一定の高さ基準を満たす位置に配置されるコンテナ運搬船のハッチカバーを非風雨密とする場合の条件が規定されており、本会はこのを鋼船規則 C 編及び鋼船規則検査要領 CS 編に取入れている。

一方で、IACS 内の議論において、IACS 統一規則 (UR) S26 の規定に基づく小倉口に対しても、ある程度の高さがあれば波の打ち込みに対する懸念は低いことを理由に、UI LL64 の要件を満たす場合にはコンテナ運搬船の小倉口のハッチカバーを非風雨密にしても差し支えない旨が合意され、2023 年 5 月に IACS UR S26(Rev.5)として採択した。

今般、IACS UR S26(Rev.5)に基づき、関連規定を改める。

### 改正内容

コンテナ運搬船の小倉口を非風雨密とする場合の要件を規定する。

### 施行及び適用

2024 年 7 月 1 日以降に建造契約が行われる船舶（全面改正される前の C 編適用船も含む）に適用

ID: DH23-12

**「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表**

新	旧	備考
<p align="center"><b>鋼船規則 C 編      船体構造及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>2-1 編      コンテナ運搬船</b></p> <p align="center"><b><u>14 章    艤装</u></b></p> <p><b><u>14.1 小倉口</u></b></p> <p><b><u>14.1.1    暴露甲板前方部分に設置される小倉口</u></b></p> <p><b><u>14.1.1.1 一般</u></b></p> <p><u>コンテナ運搬船の貨物倉に通じる小倉口にあつては、次の(1)から(3)の要件を満たすことを条件に、1 編 14.7.1.2.に規定する要件を除き、1 編 14.7.1 の要件を参酌することができる。なお、このような小倉口に設備するハッチカバーは、実際に風雨密であるかないかにかかわらず、非風雨密と見做す。</u></p> <p>(1) <u>非風雨密の倉口を設ける甲板の位置は、乾舷甲板又は仮想した乾舷甲板（以下、「仮想乾舷甲板」という）より標準船楼高さ（1966 年国際満載喫水線条約第 33 規則に定めるもの）の 2 層分（倉口の一部でも船首から <math>0.25L_f</math> の位置より前方にある場合は 3 層分）以上上方にすること。なお、仮想乾舷甲板は、当該仮想乾舷甲板をもとに計算した形状乾舷の値が、指定された満載喫水線から当該仮想乾舷甲板までの垂直距離以下となるように設定すること。</u></p> <p>(2) <u>ハッチコーミングの甲板上面上の高さは、600mm 以上とすること。</u></p> <p>(3) <u>非風雨密のハッチカバーが設置される貨物倉には、</u></p>	<p align="center"><b>鋼船規則 C 編      船体構造及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>2-1 編      コンテナ運搬船</b></p> <p align="center"><b>14 章      （新規）</b></p>	<p align="center">UR S26.2.2.5</p>

# 「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表

新	旧	備考
<p><u>ビルジ警報装置を設けること。</u></p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この規則は、2024 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。</li> <li>施行日前に建造契約*が行われた船舶にあつては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例による。</li> <li>全面改正された鋼船規則検査要領 C 編（2022 年 7 月 1 日 達 第 46 号）前の鋼船規則検査要領 C 編（以下、検査要領旧 C 編）が適用される船舶であつて、この規則の施行日以降に建造契約*が行われたものにあつては、次に示す規定にこの規則を適用する。</li> </ol> <p>検査要領 旧 C 編 C20.2.13-1.</p> <p>* 建造 契 約 と は ， 最 新 の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。</p> <p>IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)</p> <div> <div>英文 (正)</div> <div> <p>1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the</p> </div> </div> <div> <div>仮訳</div> <div> <p>1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造</p> </div> </div>		

## 「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder.</p> <p>For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification,</p> <p>or</p> <p>(2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> <p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p> <p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p> <p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本Procedural Requirementの適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、 又は、</p> <p>(2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p> <p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p> <p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前1.及び2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p> <p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本PRは、2009年7月1日から適用する。</p>	

**「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表**

新	旧	備考
<p align="center"><b>鋼船規則検査要領 CS 編      小型鋼船の船体構造 及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>CS19    倉口，機関室口その他の甲板口</b></p> <p align="center"><b>CS19.2      倉口</b></p> <p align="center"><b>CS19.2.13      暴露甲板前方部分に設置される小倉口の追加要件</b></p> <p>-1. 一般</p> <p>(1) 規則 CS 編 19.2.13 の適用を受ける小倉口の倉口縁材及び倉口蓋の強度並びに締付装置は本条の規定によること。</p> <p>(2) 本条の規定は，甲板下部の区画に通じるように設計され，風雨密又は水密で閉鎖する小倉口に適用する。また，本条の規定は，開口の大きさが通常 <math>2.5m^2</math> 以下であることを前提としている。</p> <p>(3) 前(1)にかかわらず，非常時の脱出に供されるよう設計される小倉口については，<b>-3.(1)(a), (b), -4.(3)及び-5.</b>の規定を適用することを要しない。</p> <p>(4) 非常時の脱出に供されるよう設計される小倉口の締付装置は，ハッチの両側から操作可能で，かつ，迅速に開閉可能なもの（例えば，単一の動作で締付装置の開閉を行うことができるハンドルを備えたもの）とすること。</p> <p>(5) <u>コンテナ運搬船の貨物倉に通じる小倉口にあつては，次の(a)から(c)の要件を満たすことを条件に，-2.に規定する要件を除き，本条の要件を参酌すること</u></p>	<p align="center"><b>鋼船規則検査要領 CS 編      小型鋼船の船体構造 及び船体艤装</b></p> <p align="center"><b>CS19    倉口，機関室口その他の甲板口</b></p> <p align="center"><b>CS19.2      倉口</b></p> <p align="center"><b>CS19.2.13      暴露甲板前方部分に設置される小倉口の追加要件</b></p> <p>-1. 一般</p> <p>(1) 規則 CS 編 19.2.13 の適用を受ける小倉口の倉口縁材及び倉口蓋の強度並びに締付装置は本条の規定によること。</p> <p>(2) 本条の規定は，甲板下部の区画に通じるように設計され，風雨密又は水密で閉鎖する小倉口に適用する。また，本条の規定は，開口の大きさが通常 <math>2.5m^2</math> 以下であることを前提としている。</p> <p>(3) 前(1)にかかわらず，非常時の脱出に供されるよう設計される小倉口については，<b>-3.(1)(a), (b), -4.(3)及び-5.</b>の規定を適用することを要しない。</p> <p>(4) 非常時の脱出に供されるよう設計される小倉口の締付装置は，ハッチの両側から操作可能で，かつ，迅速に開閉可能なもの（例えば，単一の動作で締付装置の開閉を行うことができるハンドルを備えたもの）とすること。</p> <p>(5) (新規)</p>	<p align="center">UR S26.2.2.5</p>

# 「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>ができる。なお、このような小倉口に設備する倉口蓋は、実際に風雨密であるかないかにかかわらず、非風雨密と見做す。</p> <p>(a) 非風雨密の倉口を設ける甲板の位置は、乾舷甲板又は仮想した乾舷甲板（以下、「仮想乾舷甲板」という）より標準船楼高さ（1966 年国際満載喫水線条約第 33 規則に定めるもの）の 2 層分（倉口の一部でも船首から<math>0.25L_f</math>の位置より前方にある場合は 3 層分）以上上方にすること。なお、仮想乾舷甲板は、当該仮想乾舷甲板をもとに計算した形状乾舷の値が、指定された満載喫水線から当該仮想乾舷甲板までの垂直距離以下となるように設定すること。</p> <p>(b) 倉口縁材の甲板上面上の高さは、600 mm 以上とすること。</p> <p>(c) 非風雨密の倉口蓋が設置される貨物倉には、ベルジ警報装置を設けること。</p>		

## 「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表

新	旧	備考
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1. この達は、2024 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。</p> <p>2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあつては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例による。</p> <p style="padding-left: 40px;">* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。</p> <p style="text-align: center;">IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">英文（正）</p> <p>1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.</p> <p>2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder.</p> <p>For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:</p> <p>(1) such alterations do not affect matters related to classification,</p> <p style="padding-left: 20px;">or</p> <p>(2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">仮訳</p> <p>1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。</p> <p>2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあつては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、</p> <p>(2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が</p> </div> </div> </div> </div>		

## 「コンテナ運搬船の小倉口」 新旧対照表

新	旧	備考
<p>owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.</p> <p>The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.</p> <p>3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.</p> <p>4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.</p> <p>Note: This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.</p>	<p>船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。</p> <p>オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。</p> <p>3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前1.及び2.に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。</p> <p>4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。</p> <p>備考： 1. 本PRは、2009年7月1日から適用する。</p>	